



# 小島友実の あの馬の **STORY**



2023年1月19日・中京 初勝利のウイナーズサークル

バルデコヴァン

今回の主役は現在、浜田多実雄厩舎に所属しているバルド。やつらです。今年の1月23日、中京ダート1400メートル戦で初勝利をマーク。グリーンフットマークのホールベーシックで発信される厩舎ロゴマークを読んで、ご存じの方もいると思いますが、この馬、なかなかのツッキモノです。今回は浜田調教師にこの馬のこれまでの歩みや厩舎の対策などをお聞きしました。  
「ゴールド」は昨年8月、「娘が良いタイプで、彼女にはせりつけられたのだ」という理由から小倉の芝コース戦でデビュー。そして、中へ週で再び小倉の同条件のレースに出走しました。

「元々」「一戦」の番号を追走しておる  
着て、初戦としては及第点どころで内蔵で  
したね。2戦目は後方からの追走となり、  
追い込んでござる。初戦の内容から距離を  
伸ばしてもこゝかねじ悪いたのしうが、2  
戦目を見ゆてやれども感心した」  
「戦田は一戦目より延長、「走  
法からのダメー<sup>ト</sup>は走れり」といふのが  
用の中原ダメー<sup>ト</sup>一四〇〇メートル走り申  
た。

「実際、ターミナルでひきこもったんですね。2着に伸びてもあしたゞ、勝ち上がりも近いかなく腰をせね忍耐でした」

このレース後はむづかしい成長を促すためにも放牧に出たバールデ「アラン」。初勝利を目指し、放牧先からの帰厩した矢先、アクリシティが起つしまさ。

「この時は帰つて来た時からテンションが高かつたですね。だから、角馬場の様子を見ながら調教しようと思つたら暴走してしまって、うつにびつかつてしまふほでした。右半身の打撲と擦過傷で、人馬ともに大

怪我をしなかつたことが不幸中の幸いで  
した。ただやは、精神面のことはあつ、  
再放牧させよ頂きました」

そして一月初旬に帰郷。郷舎ではある対策をして4戦目に向かっておした。

「現在の一一番の課題は、  
この「従事性面」と「歸化面」の  
調教でかかるに行き面は今も変わらず

「いません。一方で最近は、レースに対する後への向きになりてしまいまして。だから、人間の指示を聞いて走れるようにならないことはありません。ただ、ブリンカを着けたまま騎乗をするとか、そういう問題で、馬具を工夫するとか、そういう問題ではない」と思うんですね。初勝利後、結果的に間隔を詰めて走ったのも良くなかったと思います。初勝利が休み明けでしたから、放牧を挟んでフレッシュな状態でどんな走りを見せてくれるのか。次のレース内容を見て、今後の向き合い方を考えたいです。普段、馬房ではボーとしているんですけど、馬の気持ちを聞いてみたい? 本当にですね(苦笑)」

復帰戦のレース条件や今後の可能性について伺いました。

「中原に勝り、初勝利を挙げた一四〇〇年、トル・戦が合ひついでのかなと思つます。

集中力が持続しやすい距離の方が良い  
と感じますから。乗る人、乗る人が『良い  
もの』をもつて『いい』『面白い』『わら  
い』『うれしい』『嬉しい』『面白い』『かわ  
い』『かわいい』『かわいく見える』『かわ  
い』『かわいく見える』『かわいく見える』  
と上のすべてに行けの可能性を秘めてい  
ます。課題がある馬ですが、なんとか修  
正して、少しでも良績を挙げられるよう  
調整しておきたい

確かに課題はありますが、4戦目で勝ち上がったのは能力があるからこそ。今後のバールデコヴァンの変わら身に期待したいですね。

出でいたり廻りにゆき他の馬がいなく

(3月7日  
..電話取材)

七  
十九

競馬キャスター＆ライター。現在、ラジオNIKKI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマートアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2015年「馬場のすべて教えます（主婦の友社刊）」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材を行っている。